

# 平成29年度 全国学力・学習状況調査 ～小美玉市の現状について～

小美玉市教育委員会

## 1 全国学力・学習状況調査について（概要）

### （1）調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### （2）調査を対象とする児童生徒

【小学校調査】 小学校第6学年

【中学校調査】 中学校第3学年

### （3）調査事項及び手法

#### ① 児童生徒に対する調査

##### ア 教科に関する調査〔国語、算数・数学〕

国語、算数・数学はそれぞれ「主として『知識』に関する問題」(A)\*<sup>1</sup>と「主として『活用』に関する問題」(B)\*<sup>2</sup>を出題。

\*1：身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

\*2：知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

##### イ 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施。

#### ② 学校に対する質問紙

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施。

(4) 調査の方式

悉皆調査（全員対象）

(5) 調査日時

平成29年4月18日（火）

(6) 調査結果の解釈等に関する留意事項

本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況を把握するなどを目的として実施しているが、実施教科が国語、算数・数学の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことから、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意することが必要である。

本市の児童生徒の調査結果を踏まえた状況について、

2 小学校国語      3 小学校算数      4 中学校国語      5 中学校数学

6 質問紙

ごとにまとめてあります。

どのような調査が行われ、本市児童生徒の【成果が見られるところ】と【課題が見られるところ】は、どのようなところなのか、その一部をまとめてあります。

（全国の数値は、公立学校の児童生徒の割合です。）

【課題が見られるところ】については、小美玉市学力向上対策委員会で作成した「平成29年度 全国学力・学習状況調査分析」を市内各小中学校の全職員に配布し、それに基づき、各小中学校で指導に当たっているところです。

また、詳細（調査問題や解説、報告書など）は、国立教育政策研究所のウェブサイトで見ることができます。

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>